

体育理論「日本とオリンピック」授業案

対象：高校1年生 40名 本時の位置：5時間中の2時間目

授業の目標：日本で開催されたオリンピックについて学び、日本とオリンピックの関わりについて考える。これからの関わりについても考えられるようになる。

段階	学習内容	指導上の留意点
導入	<p><前時の復習></p> <p>それぞれの世代に記憶に残るオリンピックがある。</p> <p>これまでに開催されたオリンピックと種目</p> <p>親の世代、祖父母の世代、私たちの世代の特徴。</p>	<p>前時の復習を通して、オリンピックへの興味を引き出す。</p> <p>現在のオリンピックについて特徴を考えさせる。</p>
展開 ①	<p><日本でこれまでに行われたオリンピックについて></p> <p>発問① 日本で初めて行われたオリンピックはいつ、どこで行われたでしょう。そのオリンピックで活躍した選手を知っていますか？</p> <p>→ 活躍した選手</p> <p>1964 東京：戦後日本の国際社会への復帰</p> <p>レスリング、柔道、女子バレー「東洋の魔女」</p> <p>アベベ、ヘーシンク、円谷幸吉ら</p> <p><オリンピック・レガシー></p> <p>発問② オリンピックが開催されたことで、日本にどんな影響があったと思いますか。具体的にはどんなものが残されたか知っていますか。</p> <p>→ 有形無形のレガシー：新幹線、首都高速道路、生涯スポーツという考え方の広がり など</p> <p>現在の東京とオリンピック開催会場</p> <p><日本で行われた冬季オリンピック></p> <p>1972 札幌 (冬季)：アジア初の冬季大会</p> <p>スキージャンプ競技の活躍</p> <p>1998 長野 (冬季)</p> <p>日本人選手の活躍、ボランティア、一校一国運動</p>	<p>日本で開催されたオリンピックについてさまざまな知識を学ばせる。</p> <p>選手名や逸話などを挙げ、具体的に紹介する。</p> <p>生徒の興味を引くような内容を工夫する。</p> <p>現在の東京で当たり前のよう に利用しているものの中に、オリンピックに関わって建設されたものが多くあることを知り、オリンピックのレガシーについて考えさせる。</p> <p>身近に存在する施設についてその歴史を学ばせる。</p>
展開 ②	<p><オリンピック招致活動></p> <p>2016年開催オリンピックの招致活動について</p> <p>発問③ 2016年オリンピックはどこで開催されますか。</p> <p>東京オリンピックの開催計画とアピールポイント</p> <p>招致の流れと他の立候補都市の特徴</p> <p>リオデジャネイロ、マドリード、シカゴ</p> <p>2016年はなぜリオに決まったか</p> <p>オリンピック招致活動の今後</p> <p>発問④ 東京にオリンピックを招致すべきだと思いますか</p>	<p>2009年のオリンピック招致活動を通して、オリンピックの招致について考えさせる。</p> <p>これまで学んだことをもとに、オリンピック招致について考えさせる。</p>
まとめ	<p>本時の学習を振りかえり、学習の成果を確認する。</p> <p>次回の予告</p>	<p>学習カード、アンケート調査</p>